

自然のかくし絵② 答え

名前 (マリモくん)

だんだん	書いてあること	なぐさめ
①	セリやズシタをふと (見うしなう) ひとがある。	テータのしよらから
②	身をかくすのに役立つ色のことを (ぼい色) という。	ぼい色のせつめい
③	りん虫は、ぼい色によつて、 (どのように) てきから身をかくしている () のか。	問い① 「りん虫の身のかくし方について」
④	コノヘチヨウの羽のうらは、 (かれ葉のような色で形も木の葉そっくり) なので、かれ葉と見分けがつかない。	答え (コノヘチヨウ)
⑤	トノサマズシタは、 (自分の体と同じ色) の場所をえらんですんでいる。	答え (トノサマズシタ)
⑥	ゴマダラチヨウのよう虫は、 (まわりの色) がくにかする () につれて体の色が変わる。	答え (ゴマダラチヨウのよう虫)
⑦	ぼい色によつて、 (てきから身を) 守っている () りん虫はたくさんいる。	問い①のまとめ
⑧	りん虫は、どんなときでも (てきから身を守る) のか。	問い② 「ぼい色のきもち」
⑨	りん虫のぼい色は、 (てきの目をだまして) 身をかくす () のに役立つ。	答え (ぼい色が役立つりゆう)
⑩	ぼい色は、 (じつとしている) かぎり身をかくすのに役立つ。	答え (ぼい色が役立つとき)
⑪	りん虫が、 (動いた) ときには鳥やトカゲに食べられてしまう。	答え (ぼい色が役立たないとき)
⑫	ぼい色は、 (自然のかくし絵) といえる。	全体のまとめ と ひつしやの考え